

## 海水分析結果〈宮城県沖合〉 (γ)

採取地点		採取日時	分析項目	
			Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
南三陸沖 (T-MG0)	表層	2022/01/11 09:33	< 1.4E-03	1.0E-03
	底層	2022/01/11 10:30	< 1.4E-03	1.6E-03
石巻湾 (T-MG1)	表層	2022/01/26 10:50	< 1.4E-03	2.6E-03
	底層	2022/01/26 10:56	< 1.3E-03	2.7E-03
金華山東沖 (T-MG2)	表層	2022/01/26 08:10	< 1.4E-03	1.4E-03
	底層	2022/01/26 08:44	< 1.6E-03	1.6E-03
金華山南沖 (T-MG3)	表層	2022/01/26 09:31	< 1.4E-03	1.5E-03
	底層	2022/01/26 09:46	< 1.4E-03	1.8E-03
七ヶ浜沖 (T-MG4)	表層	2022/01/19 10:50	< 1.4E-03	2.5E-03
	底層	2022/01/19 10:53	< 1.2E-03	2.4E-03
仙台湾中央 (T-MG5)	表層	2022/01/19 09:55	< 1.2E-03	1.9E-03
	底層	2022/01/19 09:49	< 1.3E-03	1.7E-03
阿武隈川沖 (T-MG6)	表層	2022/01/19 12:01	< 1.3E-03	2.1E-03
	底層	2022/01/19 12:06	< 1.4E-03	1.8E-03
告示濃度限度 <sup>※1</sup>			6.0E+01	9.0E+01

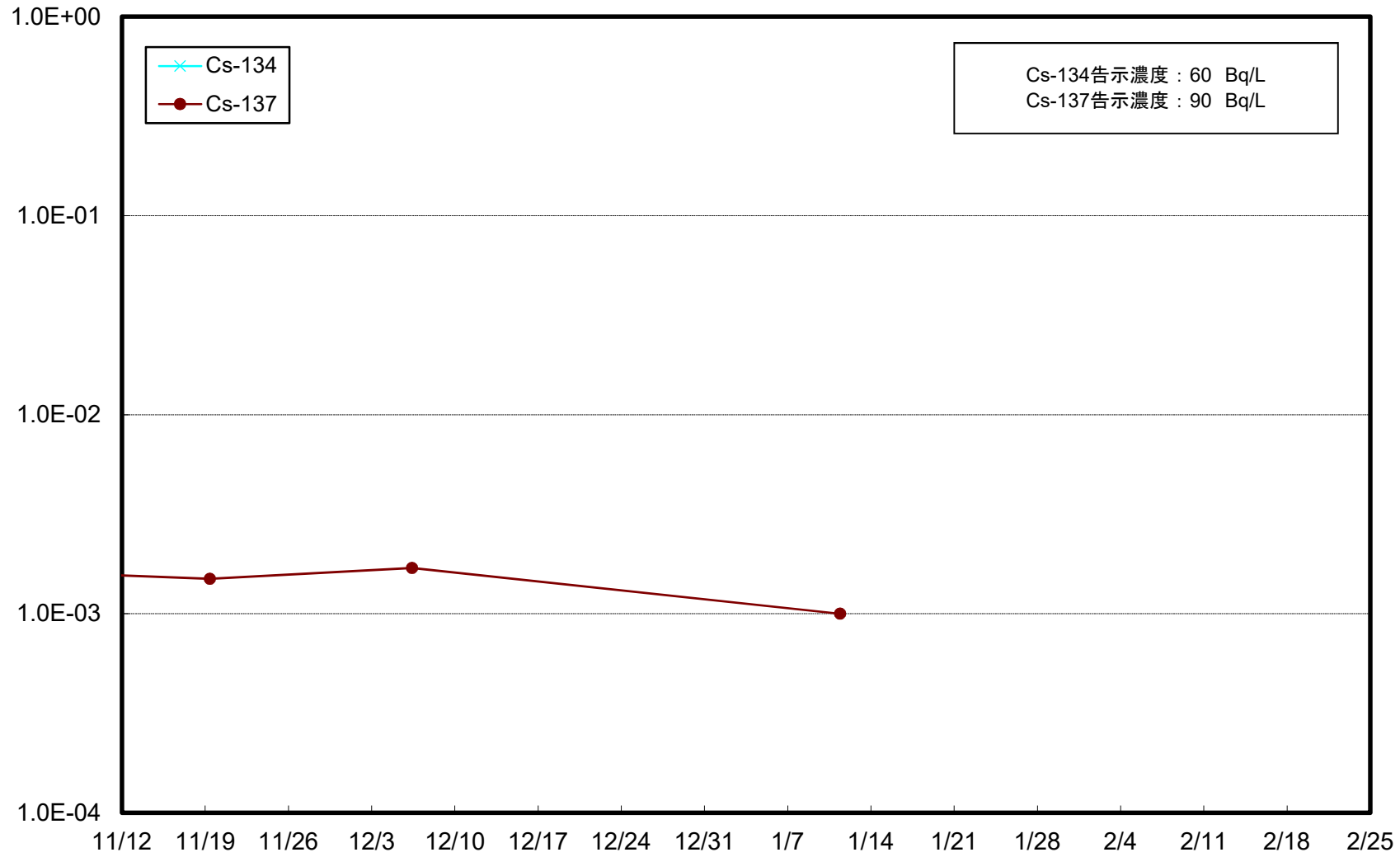
- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<：小なり) は，検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・ $0.0E\pm 0$ とは， $0.0\times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。

(例)  $3.1E+01$ は $3.1\times 10^1$ で31， $3.1E+00$ は $3.1\times 10^0$ で3.1， $3.1E-01$ は $3.1\times 10^{-1}$ で0.31と読む。

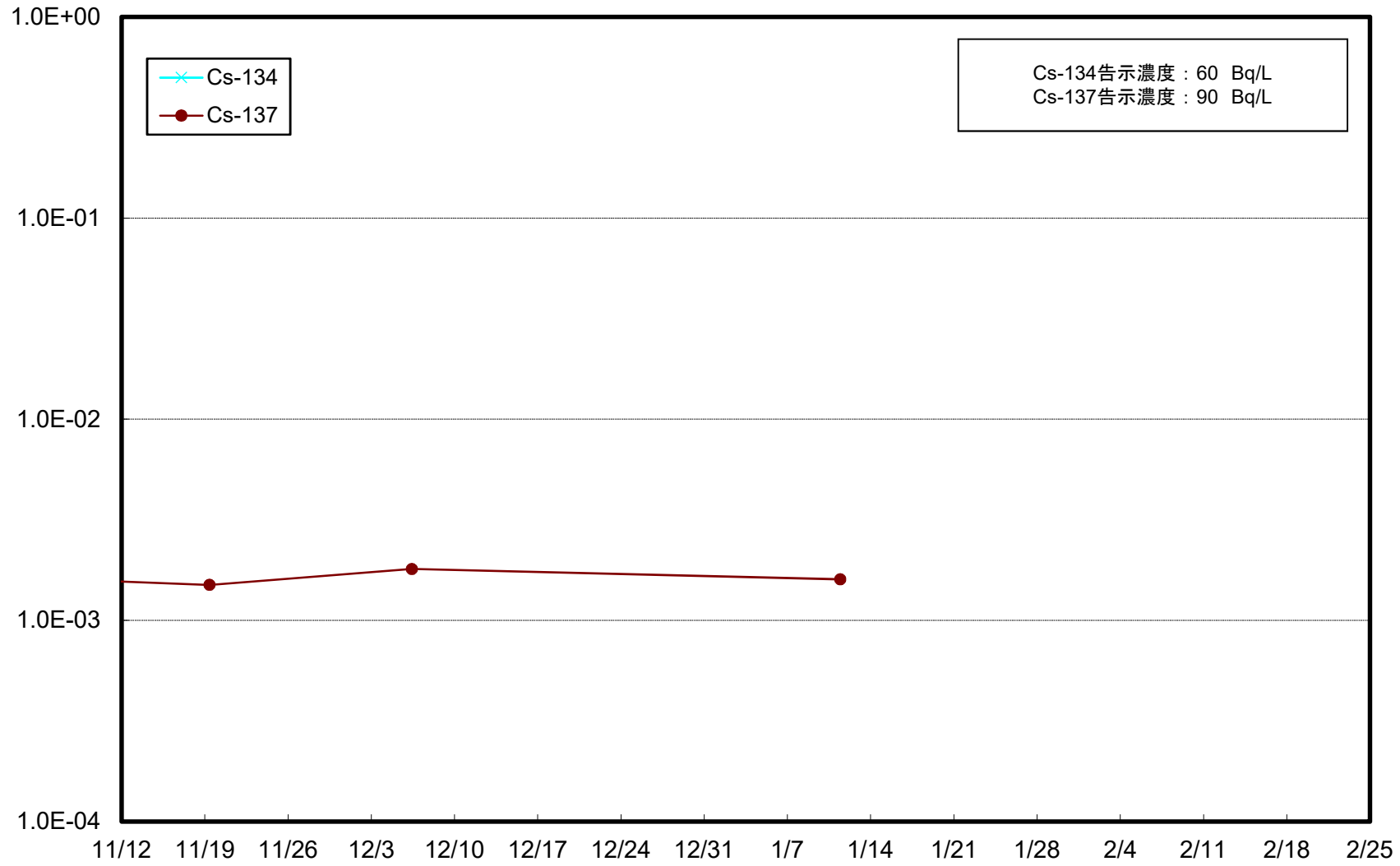
- ・詳細分析 (リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法) による分析結果を記載(2012年6月15日公表分より)
- ・分析機関：東北緑化環境保全 (株)

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
 (別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

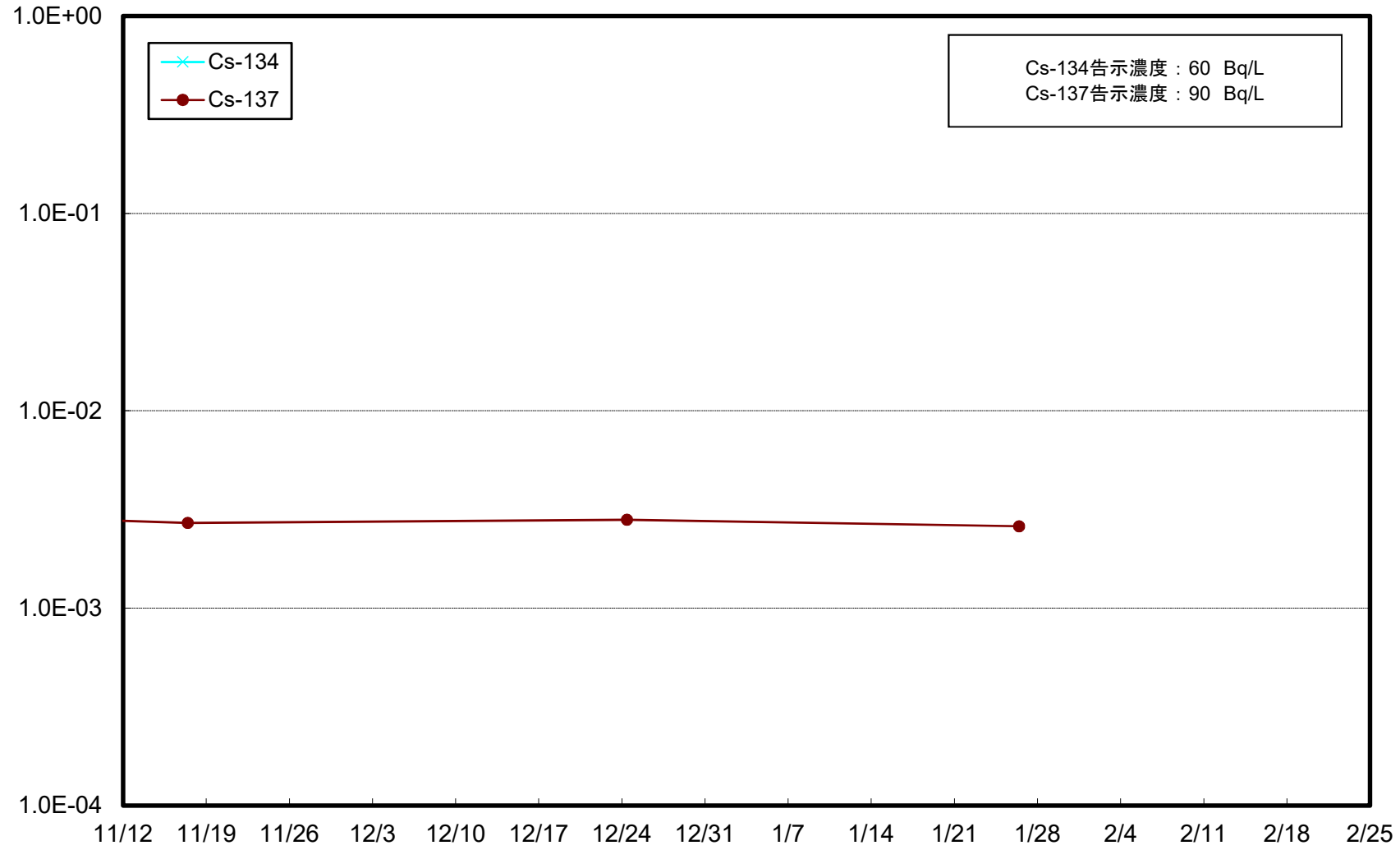
南三陸沖(T-MG0) 上層 海水放射能濃度(Bq/L)



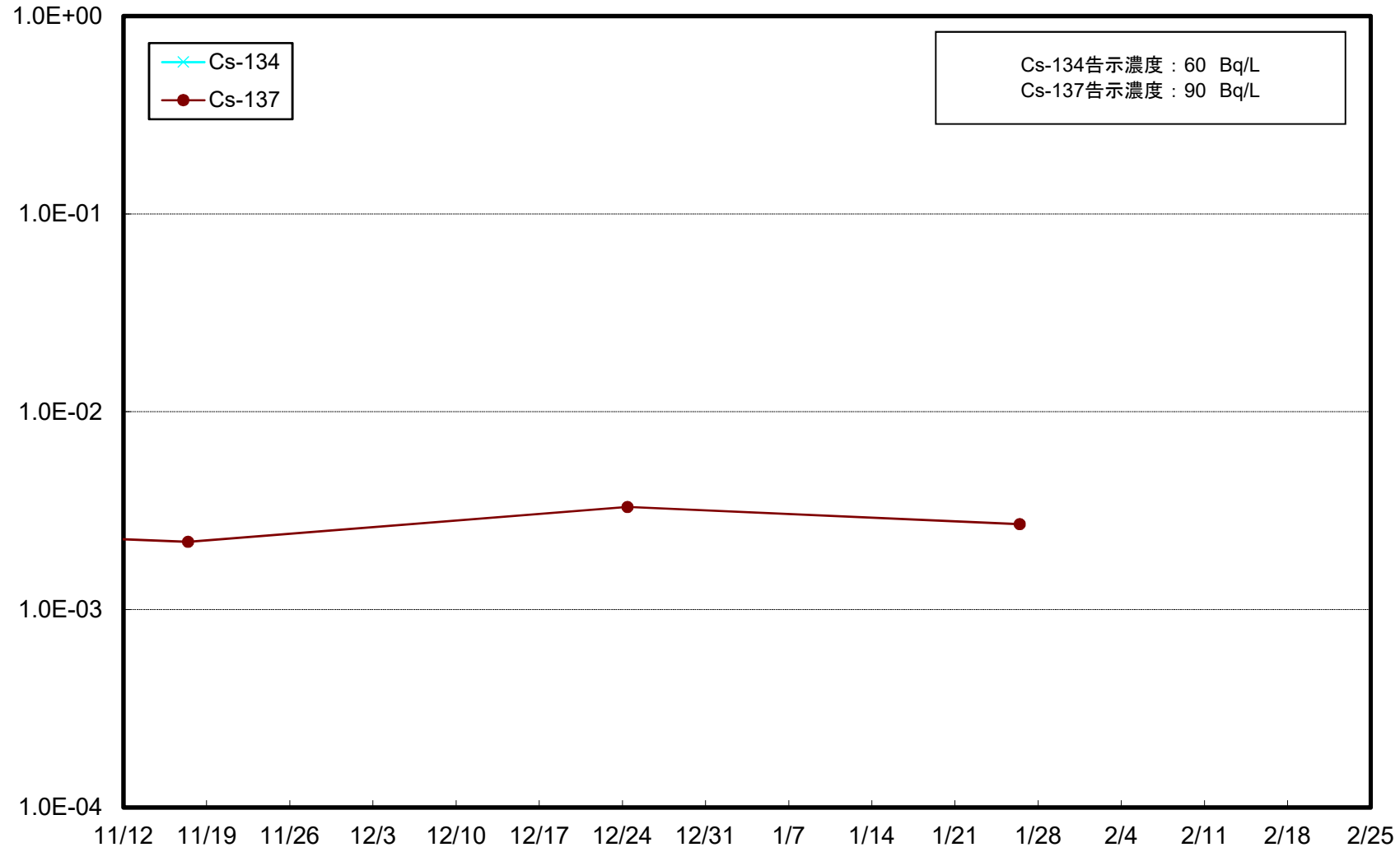
南三陸沖(T-MG0) 下層 海水放射能濃度(Bq/L)



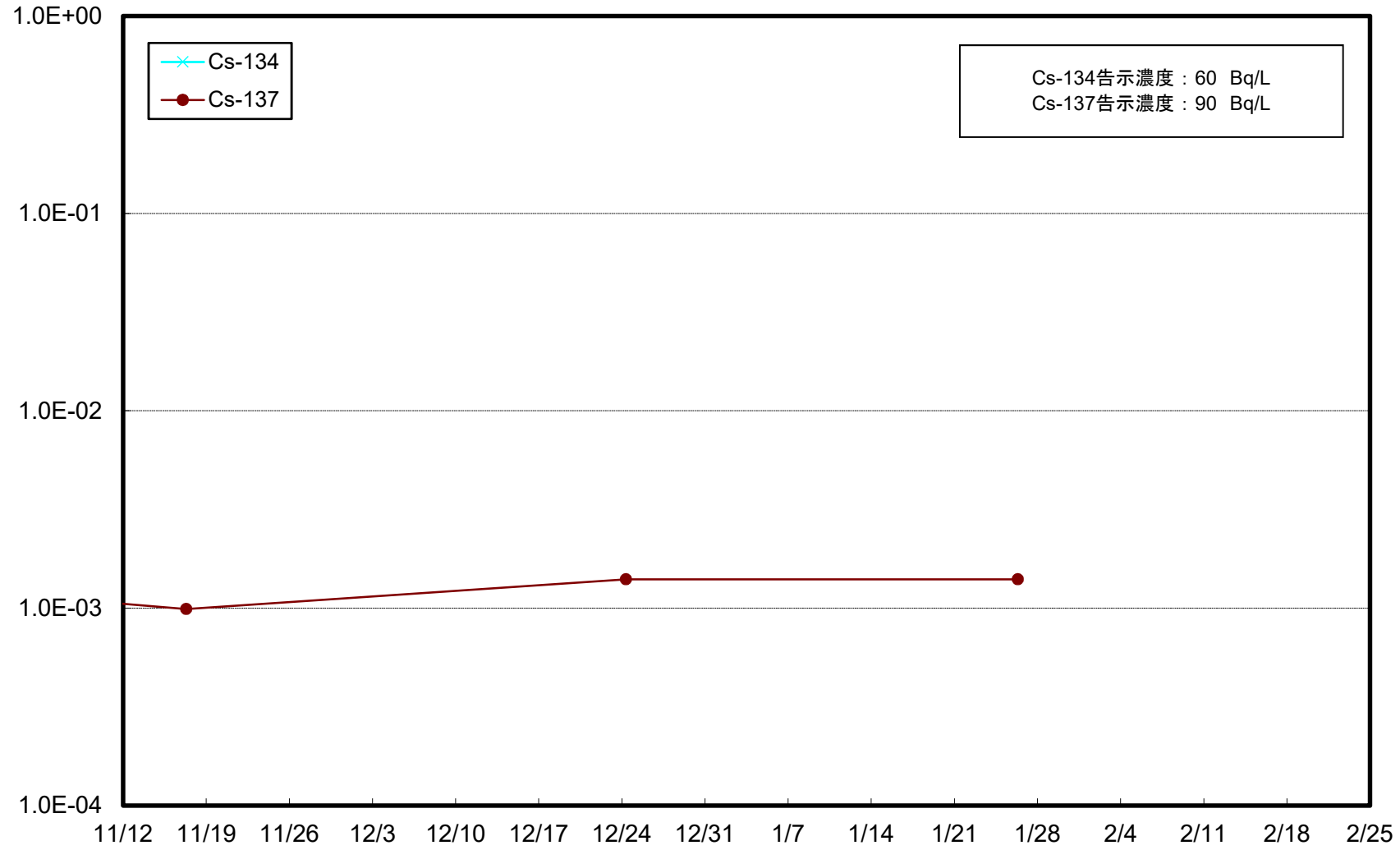
石卷湾(T-MG1) 上層 海水放射能濃度(Bq/L)



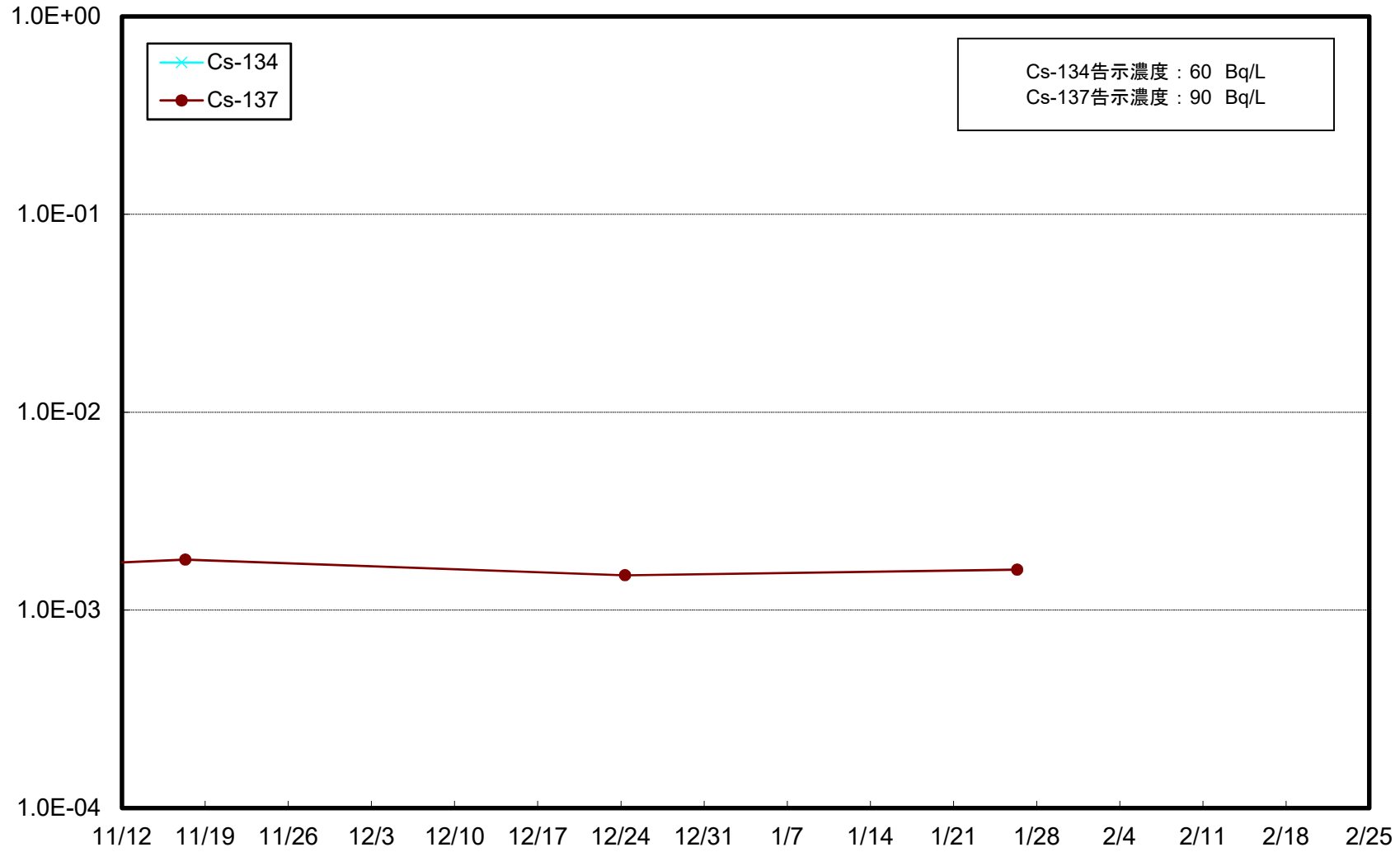
石卷湾(T-MG1) 下層 海水放射能濃度(Bq/L)



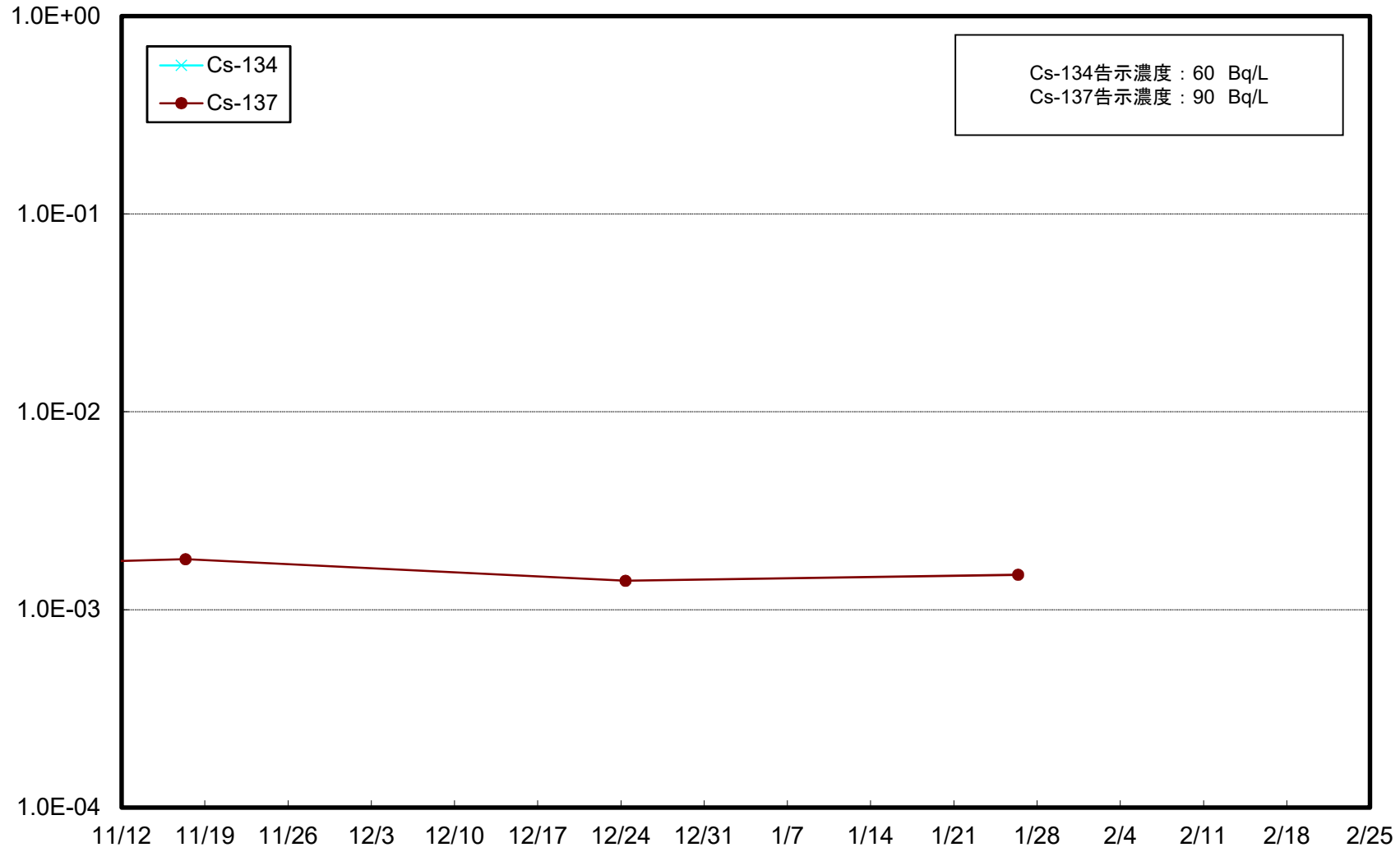
金華山東沖(T-MG2) 上層 海水放射能濃度(Bq/L)



金華山東沖(T-MG2) 下層 海水放射能濃度(Bq/L)

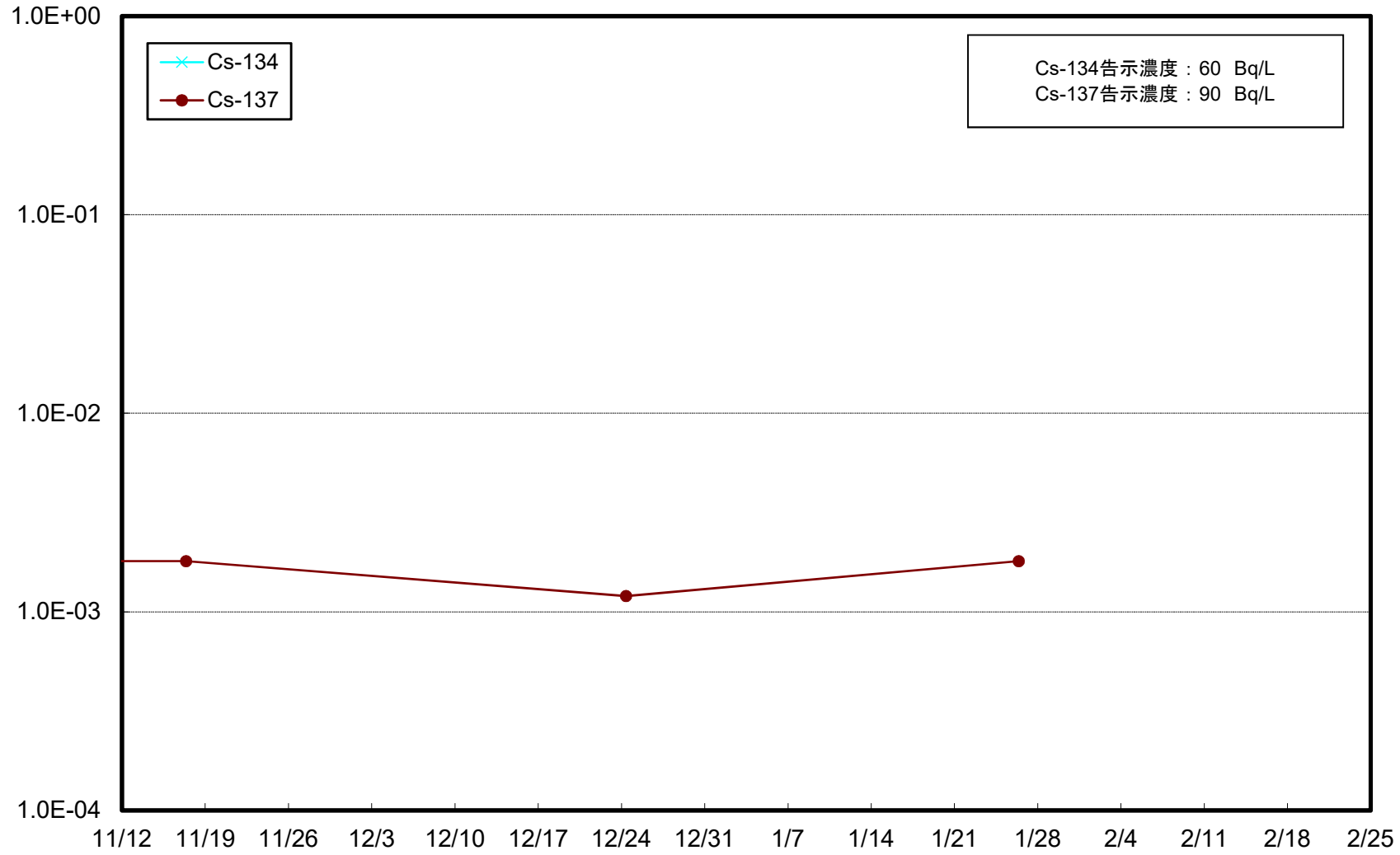


金華山南沖(T-MG3) 上層 海水放射能濃度(Bq/L)

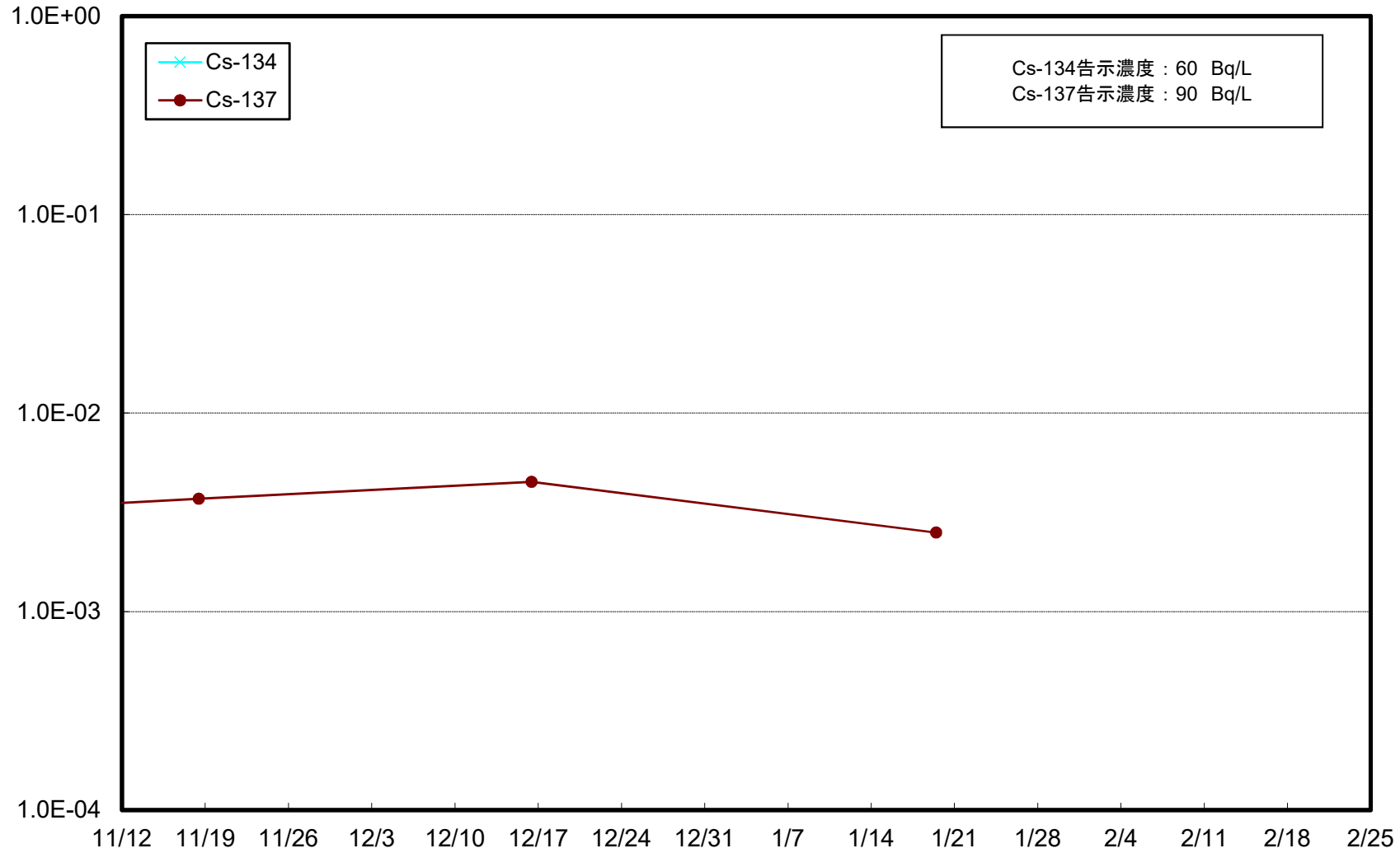




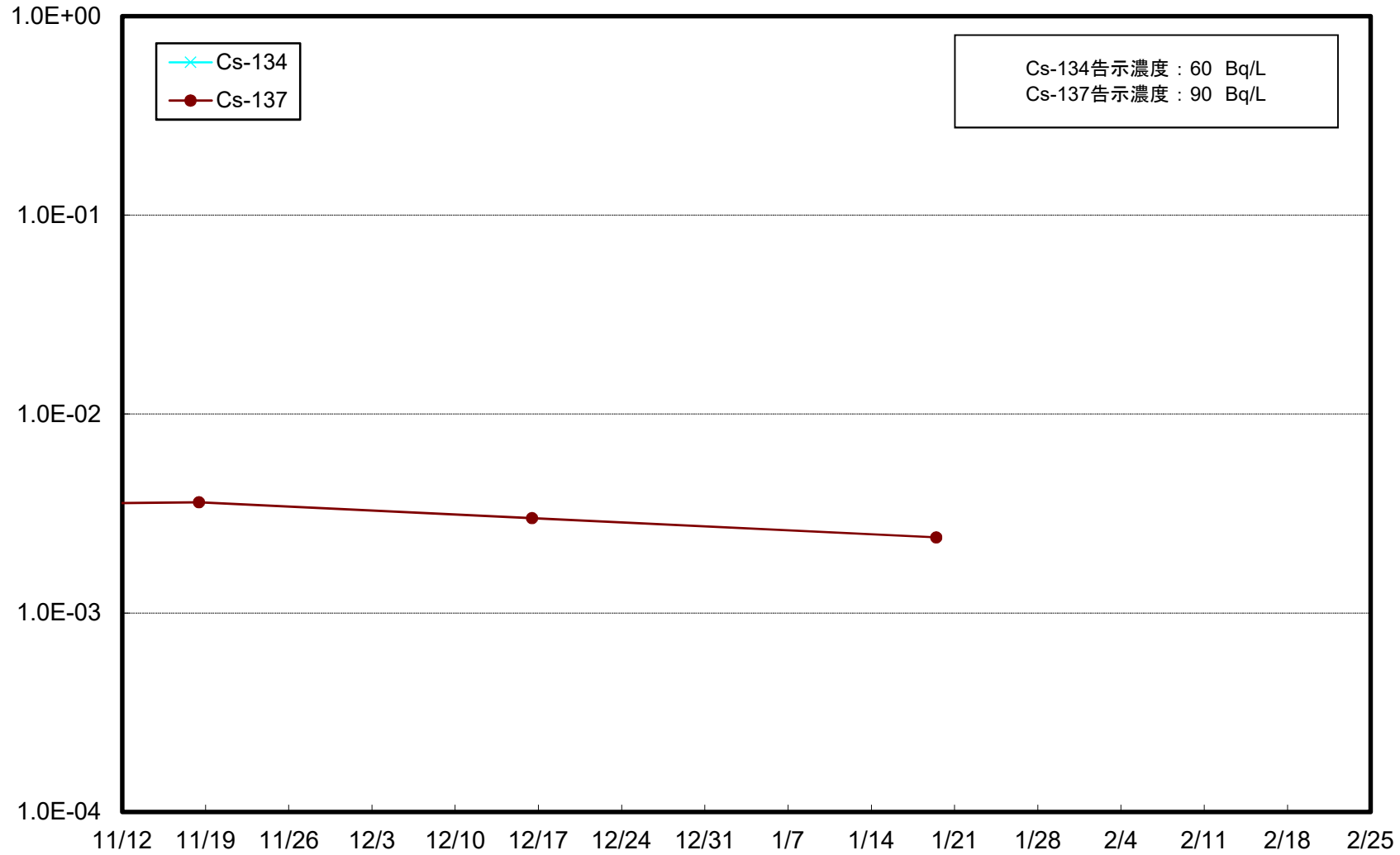
金華山南沖(T-MG3) 下層 海水放射能濃度(Bq/L)



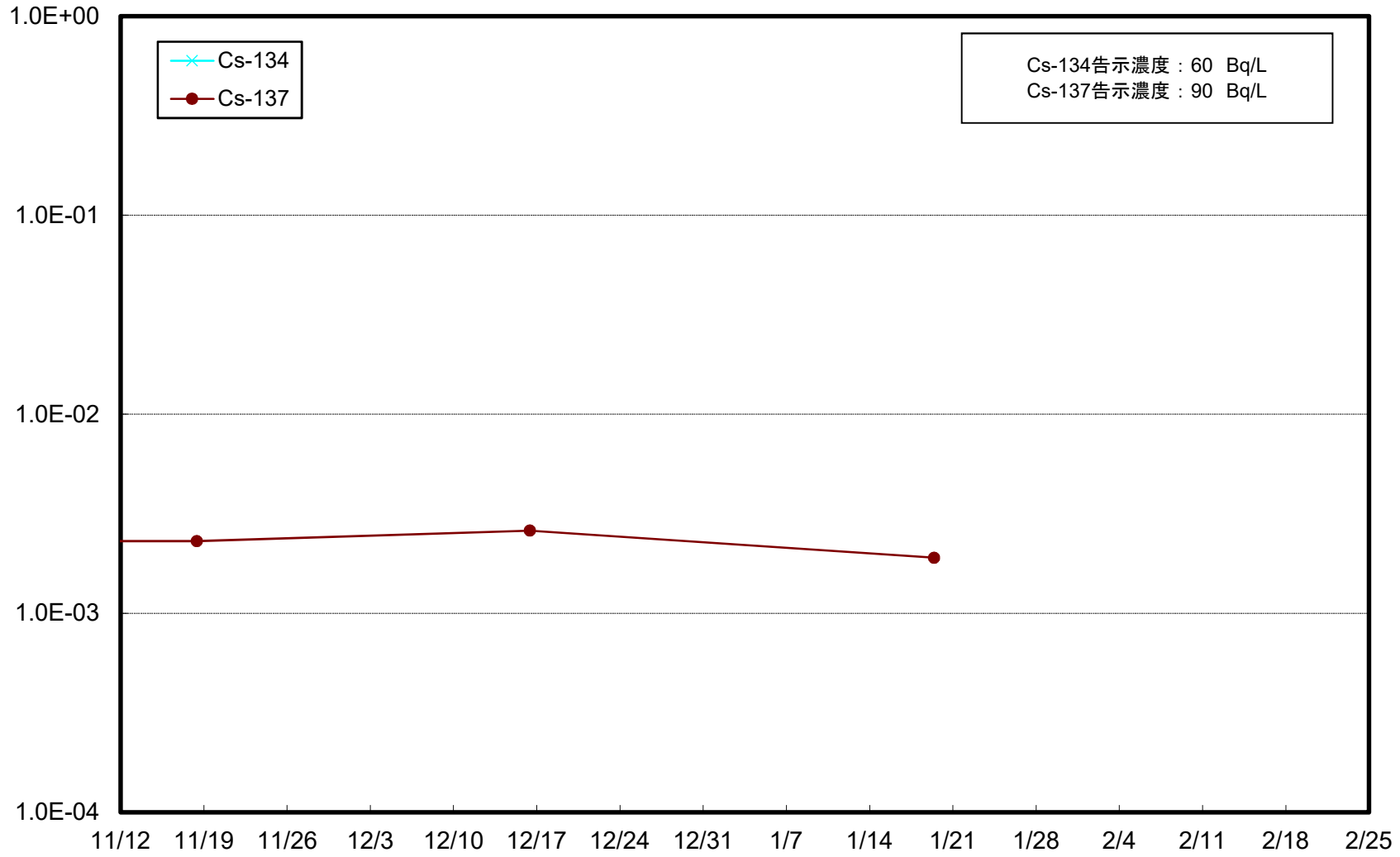
七ヶ浜沖(T-MG4) 上層 海水放射能濃度(Bq/L)



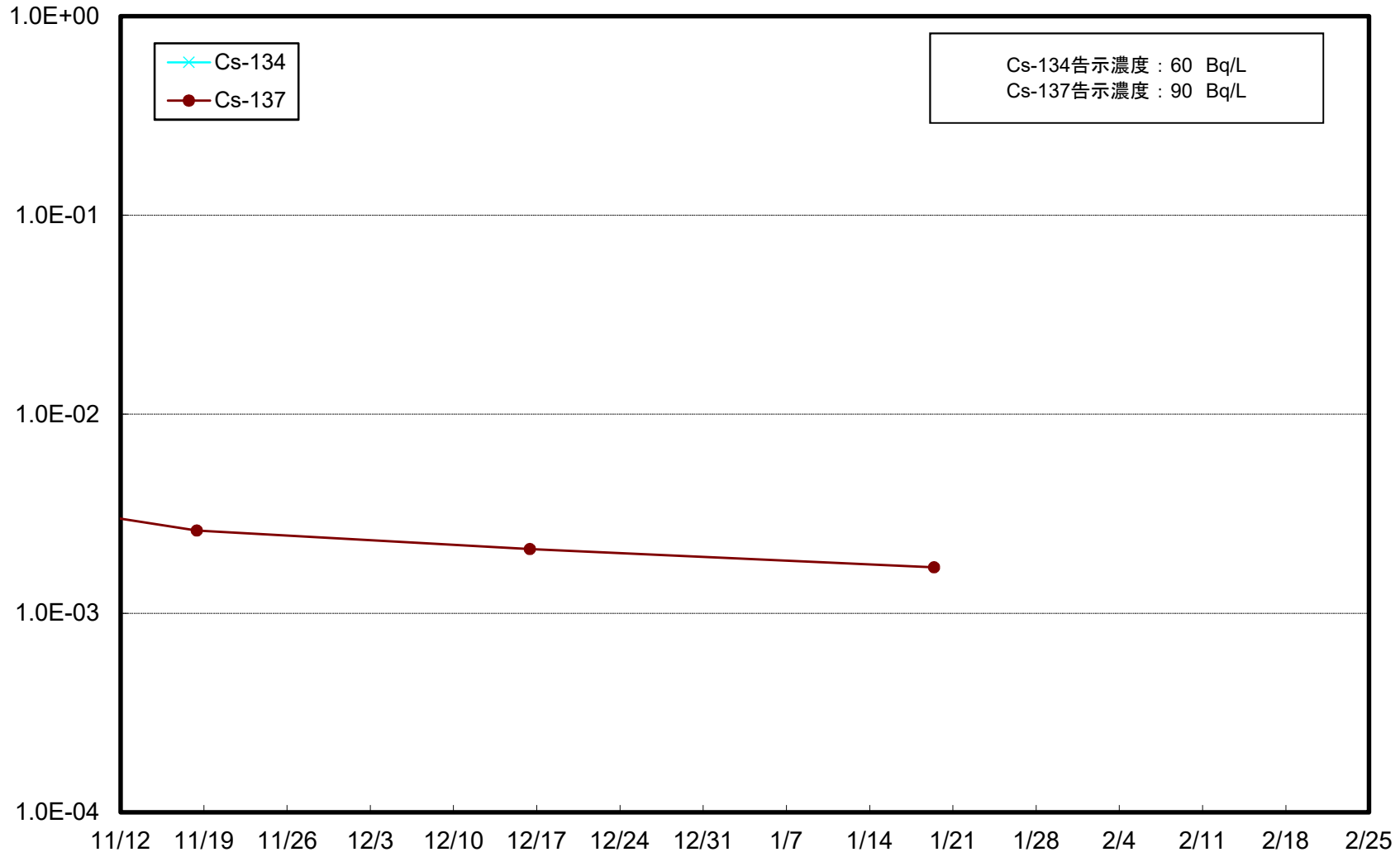
七ヶ浜沖(T-MG4) 下層 海水放射能濃度(Bq/L)



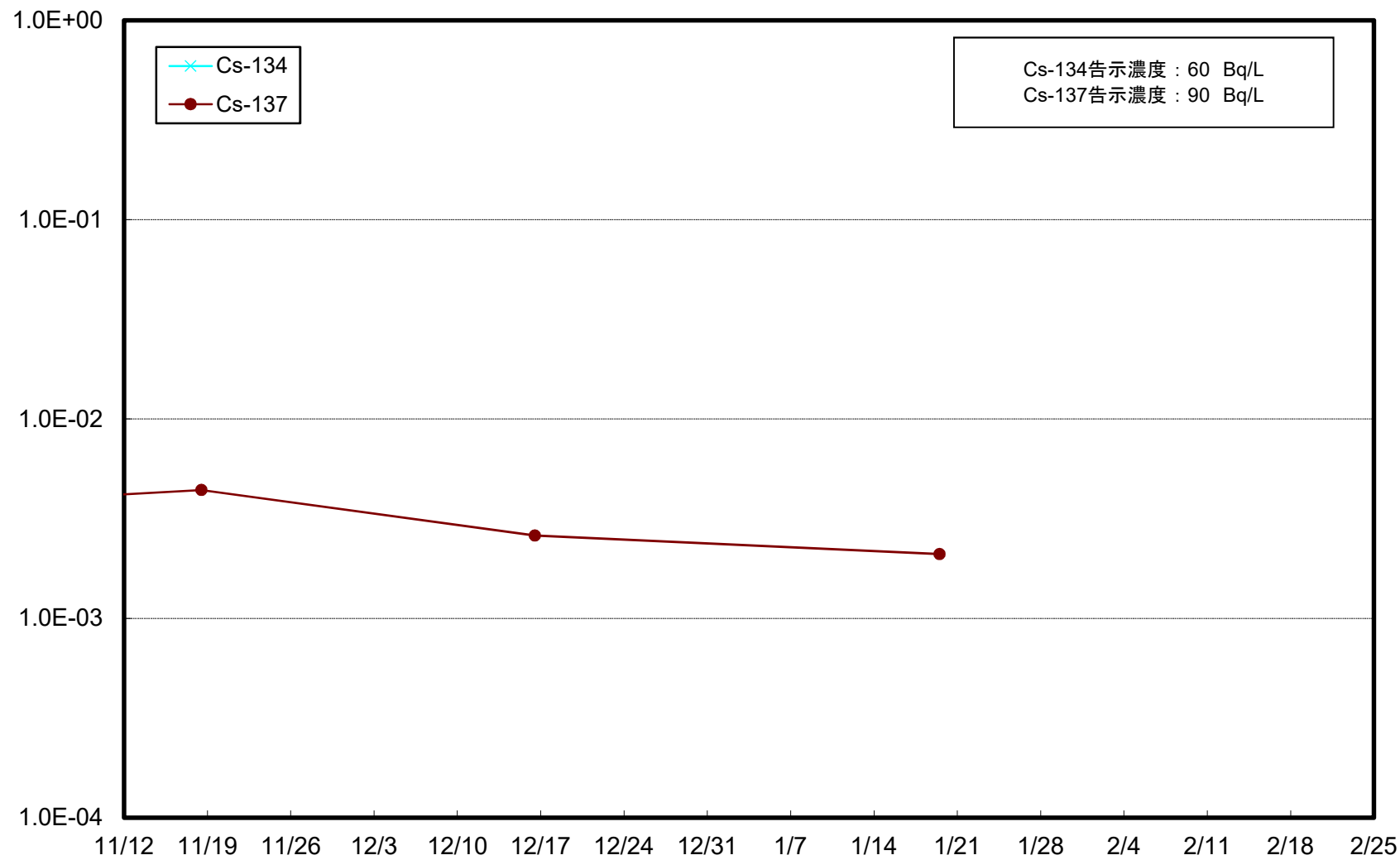
仙台湾中央(T-MG5) 上層 海水放射能濃度(Bq/L)



仙台湾中央(T-MG5) 下層 海水放射能濃度(Bq/L)



阿武隈川沖(T-MG6) 上層 海水放射能濃度(Bq/L)



阿武隈川沖(T-MG6) 下層 海水放射能濃度(Bq/L)

